



## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社Kaizen Platform 上場取引所 東  
コード番号 4170 URL <https://kaizenplatform.com/ir/>  
代表者 (役職名) 代表取締役執行役員CEO (氏名) 須藤 憲司  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 朝井 秀尚 TEL 03-5909-1151  
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	1,120	3.5	△29	-	△20	-	△55	-
2023年12月期第1四半期	1,082	45.3	△33	-	△43	-	△78	-

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 20百万円 (-%) 2023年12月期第1四半期 △66百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	△3.30	-
2023年12月期第1四半期	△4.66	-

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2. 前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年12月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	4,387	3,211	72.3
2023年12月期	4,369	3,190	72.1

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 3,170百万円 2023年12月期 3,151百万円

(注) 前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年12月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年12月期	-	-	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	3.6	250	4.5	10	-	0	-	△30	-	△1.77

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額+株式報酬費用

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社、除外 -社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	16,875,731株	2023年12月期	16,865,731株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	110株	2023年12月期	110株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	16,869,137株	2023年12月期 1 Q	16,751,553株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度との比較・分析にあたっては暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いています。

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって緩やかに回復することが期待されております。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある状況となっております。

インターネット広告の市場規模は3兆3,330億円となり、「新聞広告費」「雑誌広告費」「ラジオ広告費」「テレビメディア広告費」を合計した「マスコミ四媒体広告費」の2兆3,161億円を大きく上回り(注1)、日本国内のDX市場は中長期的な拡大を続け、2030年には8兆350億円の規模にまで成長すると予測されております(注2)。このように、事業変革をもたらすマーケティング領域でのDX化がさらに進んでいく中、当社グループが提供する、デジタル上の顧客体験を改善して事業成長を支援する「攻めのDX」のニーズもますます高まると想定され、当社グループの事業機会はさらに拡大していくものと考えています。

このような経営環境の中当社グループは、グループシナジーの追求や商品ラインナップの強化、クロスセルの強化など顧客単価向上に向けた取り組みを行い、当社グループ全体の連結売上高は成長基調を維持しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,120,762千円(前年同期比3.5%増)、営業損失29,844千円(前年同期は33,859千円の営業損失)、経常損失20,113千円(前年同期は43,717千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失55,729千円(前年同期は78,103千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

出典(注1) ㈱電通「2023年日本の広告費」

(注2) ㈱富士キメラ総研「2023 デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望」

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

#### ① グロースセグメント

グロースセグメントは、新たな生活様式及び勤務形態の浸透によりリモートワークの導入など企業のデジタル活用が進む中、これまでのWebサイト改善や動画制作だけではなく、子会社である㈱ディーゼロによるWebサイト制作やCRMの改善など顧客の課題に合わせたトータル提案に注力し、大手顧客を中心にクロスセルが進み、顧客単価が向上しましたが、顧客ポートフォリオの見直しを引き続き行い、業績に影響を及ぼす結果となりました。

この結果、売上高は559,082千円(前年同期比6.6%減)、セグメント損失は36,031千円(前年同期はセグメント損失45,535千円)となりました。

#### ② トランスフォーメーションセグメント

トランスフォーメーションセグメントは、DXに関するコンサルティングやワークショップ及び2022年10月に子会社化した㈱ハイウェルの行う事業により売上が構成されております。グロースセグメントと同様に大手顧客に向けたトータル提案を積極的に行い、DXコンサルティングを軸に顧客単価が向上し売上が伸長しております。

この結果、売上高は561,679千円(前年同期比16.1%増)、セグメント利益は6,186千円(前年同期比47.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、4,387,495千円(前連結会計年度末比18,007千円増加)となりました。これは主に、現金及び預金が80,593千円、受取手形、売掛金及び契約資産が67,870千円増加した一方で、流動資産のその他に含まれる未収入金が40,491千円、ソフトウェアが38,624千円、繰延税金資産が24,290千円減少したことによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、1,176,126千円(前連結会計年度末比2,838千円減少)となりました。これは主に、買掛金が28,338千円、流動負債のその他に含まれる未払費用が13,715千円増加した一方で、流動負債のその他に含まれる前受金が28,081千円、長期借入金が19,062千円減少したことによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,211,369千円(前連結会計年度末比20,846千円増加)となりました。これは主に、為替換算調整勘定が74,151千円増加した一方で、利益剰余金が55,729千円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想につきましては、2024年2月14日の開示時点から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,544,457	2,625,050
受取手形、売掛金及び契約資産	680,553	748,423
その他	135,241	84,748
貸倒引当金	△1,418	-
流動資産合計	3,358,833	3,458,222
固定資産		
有形固定資産	21,105	24,287
無形固定資産		
ソフトウェア	212,389	173,765
ソフトウェア仮勘定	14,132	18,323
のれん	603,015	585,291
その他	2,600	1,959
無形固定資産合計	832,138	779,339
投資その他の資産		
投資有価証券	51,506	47,620
繰延税金資産	55,110	30,819
その他	50,794	50,097
貸倒引当金	-	△2,891
投資その他の資産合計	157,410	125,646
固定資産合計	1,010,654	929,273
資産合計	4,369,488	4,387,495
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	347,731	376,070
短期借入金	826	-
1年内返済予定の長期借入金	280,408	280,408
未払法人税等	39,289	23,016
その他	193,157	198,141
流動負債合計	861,412	877,636
固定負債		
長期借入金	317,552	298,490
固定負債合計	317,552	298,490
負債合計	1,178,964	1,176,126
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,766,983	1,767,188
資本剰余金	3,682,893	3,683,098
利益剰余金	△2,532,779	△2,588,508
自己株式	△48	△48
株主資本合計	2,917,048	2,861,728
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	234,520	308,672
その他の包括利益累計額合計	234,520	308,672
非支配株主持分	38,954	40,968
純資産合計	3,190,523	3,211,369
負債純資産合計	4,369,488	4,387,495

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,082,449	1,120,762
売上原価	769,289	791,759
売上総利益	313,160	329,003
販売費及び一般管理費	347,019	358,847
営業損失(△)	△33,859	△29,844
営業外収益		
受取利息	59	13,128
為替差益	264	2,624
助成金収入	-	278
その他	740	822
営業外収益合計	1,064	16,854
営業外費用		
支払利息	3,870	1,999
投資事業組合運用損	4,261	3,885
支払手数料	2,404	934
その他	386	303
営業外費用合計	10,923	7,124
経常損失(△)	△43,717	△20,113
税金等調整前四半期純損失(△)	△43,717	△20,113
法人税、住民税及び事業税	15,333	9,310
法人税等調整額	13,636	24,290
法人税等合計	28,969	33,601
四半期純損失(△)	△72,687	△53,715
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,415	2,014
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△78,103	△55,729

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純損失(△)	△72,687	△53,715
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	6,535	74,151
その他の包括利益合計	6,535	74,151
四半期包括利益	△66,152	20,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△71,567	18,421
非支配株主に係る四半期包括利益	5,415	2,014



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書 計上額(注)
	グロース	トランスフォー メーション	計		
売上高					
一時点で移転される財	168,376	5,810	174,187	-	174,187
一定の期間にわたり移転される財	430,393	477,868	908,262	-	908,262
顧客との契約から生じる収益	598,770	483,679	1,082,449	-	1,082,449
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	598,770	483,679	1,082,449	-	1,082,449
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	598,770	483,679	1,082,449	-	1,082,449
セグメント利益又は損失(△)	△45,535	11,676	△33,859	-	△33,859

(注) セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年1月1日至2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書 計上額(注)
	グロース	トランスフォー メーション	計		
売上高					
一時点で移転される財	149,219	35,300	184,519	-	184,519
一定の期間にわたり移転される財	409,863	526,379	936,243	-	936,243
顧客との契約から生じる収益	559,082	561,679	1,120,762	-	1,120,762
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	559,082	561,679	1,120,762	-	1,120,762
セグメント間の内部売上高 又は振替高	654	280	934	△934	-
計	559,737	561,959	1,121,696	△934	1,120,762
セグメント利益又は損失(△)	△36,031	6,186	△29,844	-	△29,844

(注) 1. 売上高の調整額は、セグメント間取引高の消去額であります。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。